

平成25年度 指定管理者評価結果

施設名	岐阜県立サニーヒルズみずなみ
指定管理者	社会福祉法人 岐阜県福祉事業団
共同体である 場合の構成員	
施設所管課	健康福祉部 障害福祉課
管理運営に対する 評価について の意見	管理基準の充足状況 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者へのサービス提供に関して、個々のニーズに合わせた外出を実施している。 ・ケースワーカーも、喀痰吸引等の研修を受け、看護師とケースワーカーが連携を取りながら、日中・夜間とも、利用者と家族が安心できる体制を整えている。 ・支援計画を利用者主体の観点から取り組んでいる点で大いに評価できる。 ・前回の懸案事項の外出における個人対応について、ボランティア等の協力を得て実現したことなどは、利用者のQOLの向上につながることであり評価できる。 ・重度の利用者が増えている現状を踏まえての、医療的ケアの研修、口腔ケアなどの健康管理面の取り組み、作業療法士による機能の維持・回復等、利用者のADLやQOLを高める取り組みは評価できる。 ・看護師が基準より多く配置され、利用者の安心安全な生活につながり評価できる。 ・重点目標を「障がい者支援施設の機能を生かし、利用者個々に応じたサービスを充実するとともに、地域福祉に貢献する。」として、具体的な取り組みがなされた。 ・職員の不足部分は社会資源を大いに生かしながら、活動と参加の範囲が広がることを期待する。ホームページ・ロコミなどの活用も期待している。
	設置目的の達成状況 <ul style="list-style-type: none"> ・東濃圏域の身体障害者支援拠点施設として、地域の医療的ケアの必要な重症心身障がい者を受け入れており、地域や家族にとって安心につながっているという観点から評価できる。 ・日帰り旅行を増やしたり、利用者個々のニーズに合わせた多様な外出の機会を設け、満足度を高めている点が評価できる。 ・利用者のCS調査、嗜好調査等を行い、自治会にも施設側からも出席するなど、ニーズの把握に努め、会議等で実施に向けて努力している。
	公共性の確保の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を月1回行っている。頻度を評価する。 ・近隣住民参加型の防災訓練は、日ごろの地域住民との交流や地域のニーズに応えた短期入所の取り組みなどの成果といえる。今後も、施設機能を活かした地域への還元が、地域とのかかわりを深め、協力体制を強化できる観点から、さらなる取り組みを期待している。 ・緊急時には、勤務中の職員だけで対応可能か（特に夜間はどうか）、近隣住民との関係など検討すべき課題があるのではないかと。
	経営状況 <ul style="list-style-type: none"> ・適正である。 ・環境エコ活動として、日中活動の中に、廃紙を利用して封筒を作り、職員の給与明細書入れ等に使用したり、生ごみで堆肥を作り、植栽の肥料として使っている。 ・昨年度に比べ長期入院が減少したことで収支が安定できたのも、健康管理面やリハビリへの取り組みなど、職員の意識の改革の成果といえる。 ・生ゴミの再利用による堆肥づくりと廃紙利用の封筒づくりを日中活動にするなどのエコ活動へのとりくみの成果は評価できる。 ・正規、非正規職員の適正化に引き続き努力されたい。

	<p>その他派生的効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントをボランティア、近隣住民と共同開催していることは評価できる。ボランティア、近隣住民との関係は、お手伝い型より参加型の方がより進化した形態だと思う。 ・地元の社会福祉協議会の理事会に出席したり、地域懇談会を実施する等地域との連携に努めている。 ・文化祭、サニーヒルズ祭を地域と共同開催。地域の小中学生、高校生の体験学習等積極的に地域交流、貢献を図っている。
<p>県 の 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。